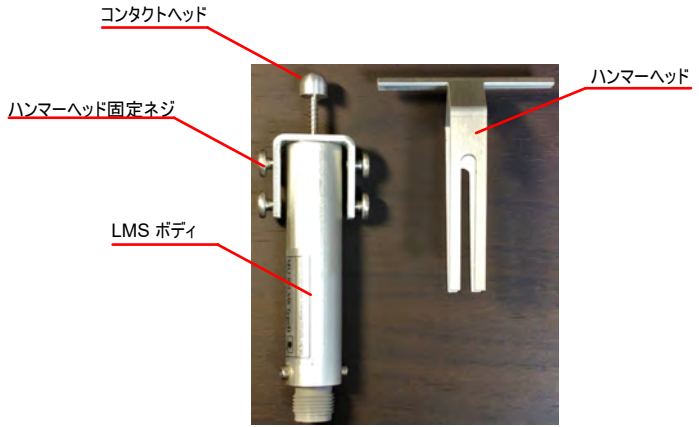


Environmental Measurement Japan

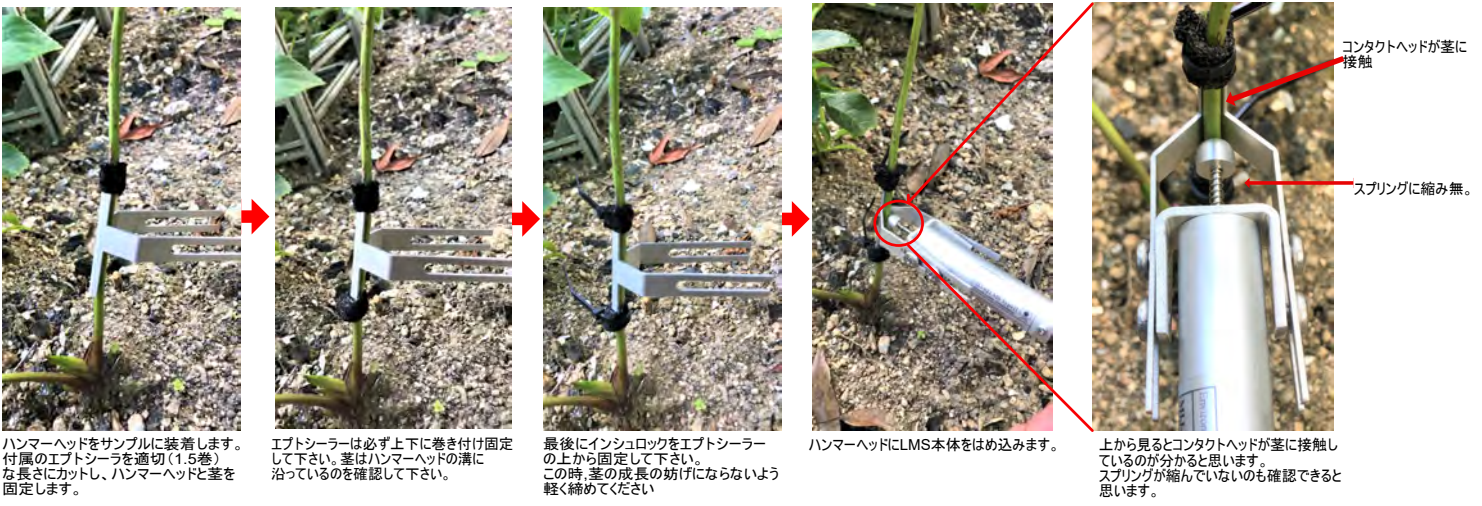
Dendrometer MIJ-02 LMS Manual

MIJ-02 LMSの取り付け方をご説明いたします。
 枝や幹など頑丈なサンプルは割と簡単に装着できますが、草本の茎など柔らかいサンプルは少し工夫が必要なので最初に茎をメインに説明いたします。



LMSパーツ

<茎への装着>



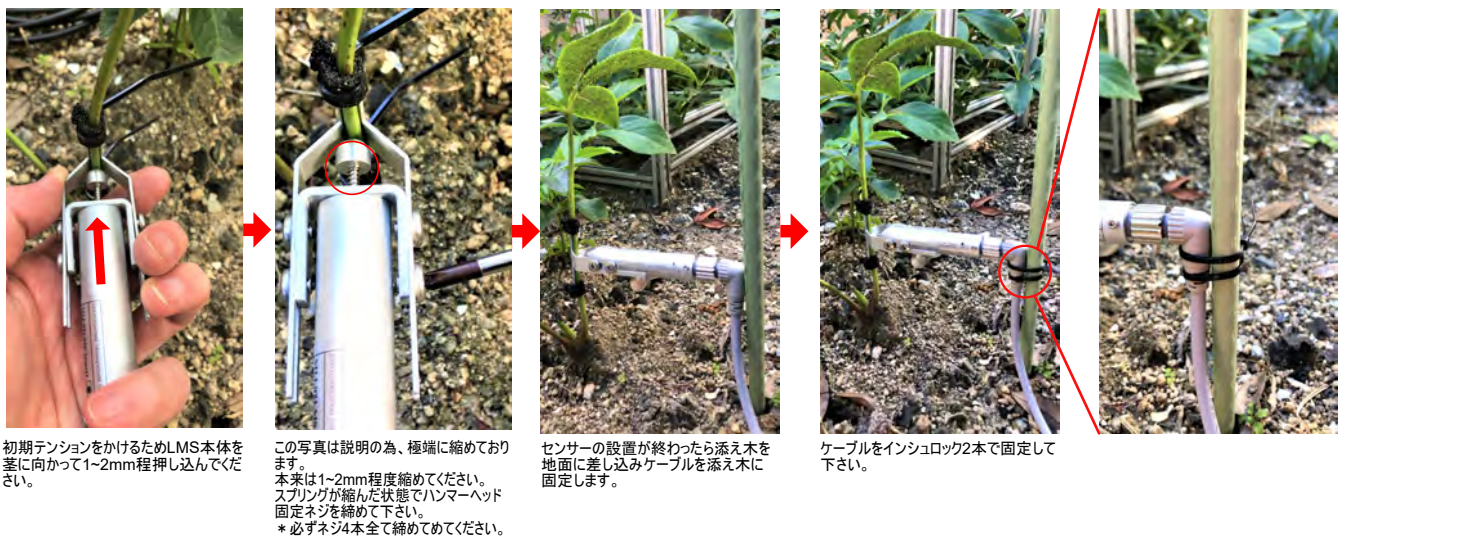
ハンマーヘッドをサンプルに装着します。付属のエプトシーラを適切(1.5巻)な長さにカットし、ハンマーヘッドと茎を固定します。

エプトシーラは必ず上下に巻き付け固定して下さい。茎はハンマーヘッドの溝に沿っているのを確認して下さい。

最後にインシュロックをエプトシーラーの上から固定して下さい。この時、茎の成長の妨げにならないよう軽く締めてください

ハンマーヘッドにLMS本体をはめ込みます。

上から見るとコンタクトヘッドが茎に接触しているのが分かります。スプリングが縮んでいないのも確認できると思います。



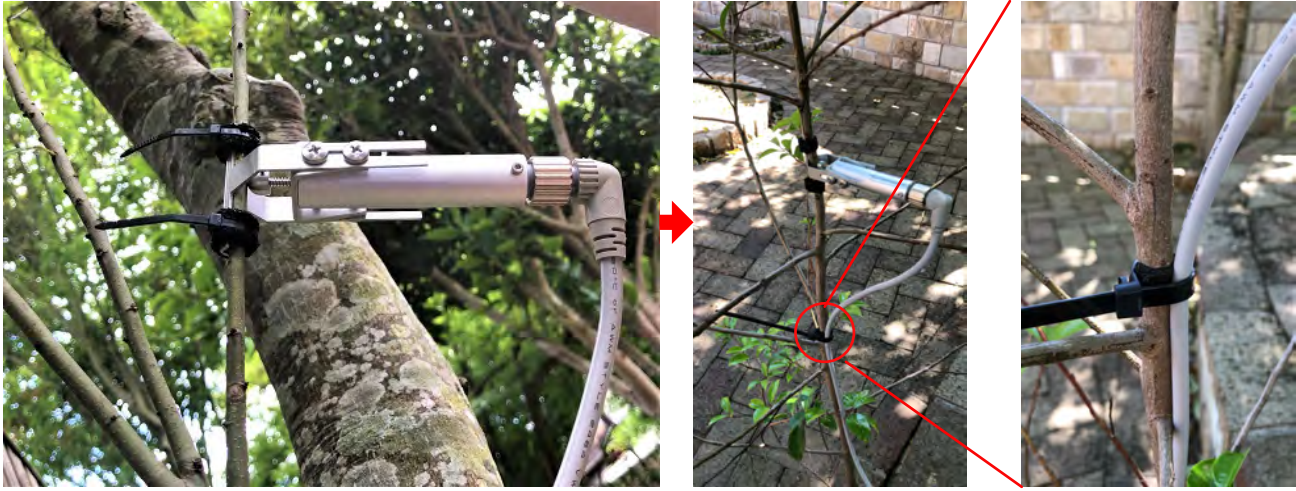
初期テンションをかけるためLMS本体を茎に向かって1~2mm程押し込んでください。

この写真は説明の為、極端に縮めております。本来は1~2mm程度縮めてください。スプリングが縮んだ状態でハンマーヘッド固定ネジを締めて下さい。
 *必ずネジ4本全て締めてください。

センサーの設置が終わったら添え木を地面に差し込みケーブルを添え木に固定します。

ケーブルをインシュロック2本で固定して下さい。

<枝や幹への取り付け方>



茎とは違い添え木無し状態で装着します。
取り付け方は茎と同じですので茎への装着をご覧ください。
必ずハンマーヘッド上下をエプトソーラーとインシュロックで枝や幹に固定してください。



注意

上の写真はハンマーヘッドが幹の直径に対応できていない悪い装着例です。
必ず適したサイズのデンドロメーターを使ってください。
LMSで計測できない対象はLMMやMIJ-02 Rotaryでの対応が可能です。

<高所での計測方法>



測定したい枝や幹が高い位置にある場合にはケーブルを幹に這わせて固定しますが、
ケーブルを張り過ぎると枝が風で揺れたときなどにセンサーが引っ張られてしまいます。
センサー付近のケーブルは図のように少し弛ませるのが重要です。
ケーブルを幹に固定する際はインシュロックで2か所ほど固定してください。

<インシュロック>



インシュロックは長さに限界がありますので一本で足りない場合はインシュロック二本組み合わせて使用してください。